: Niina Otsuka

伊平屋村地域おこし協力隊

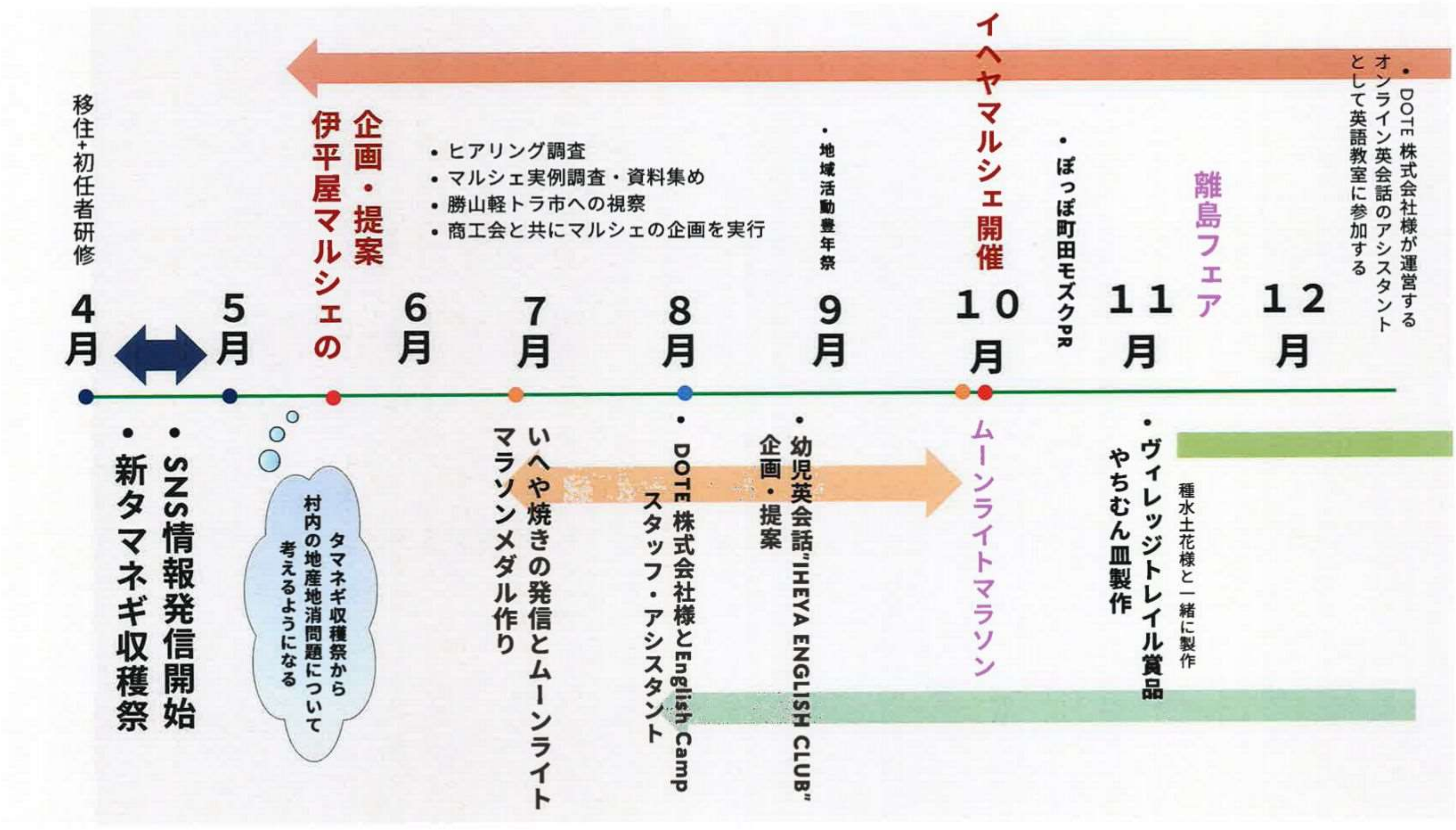
2023年度活動報告

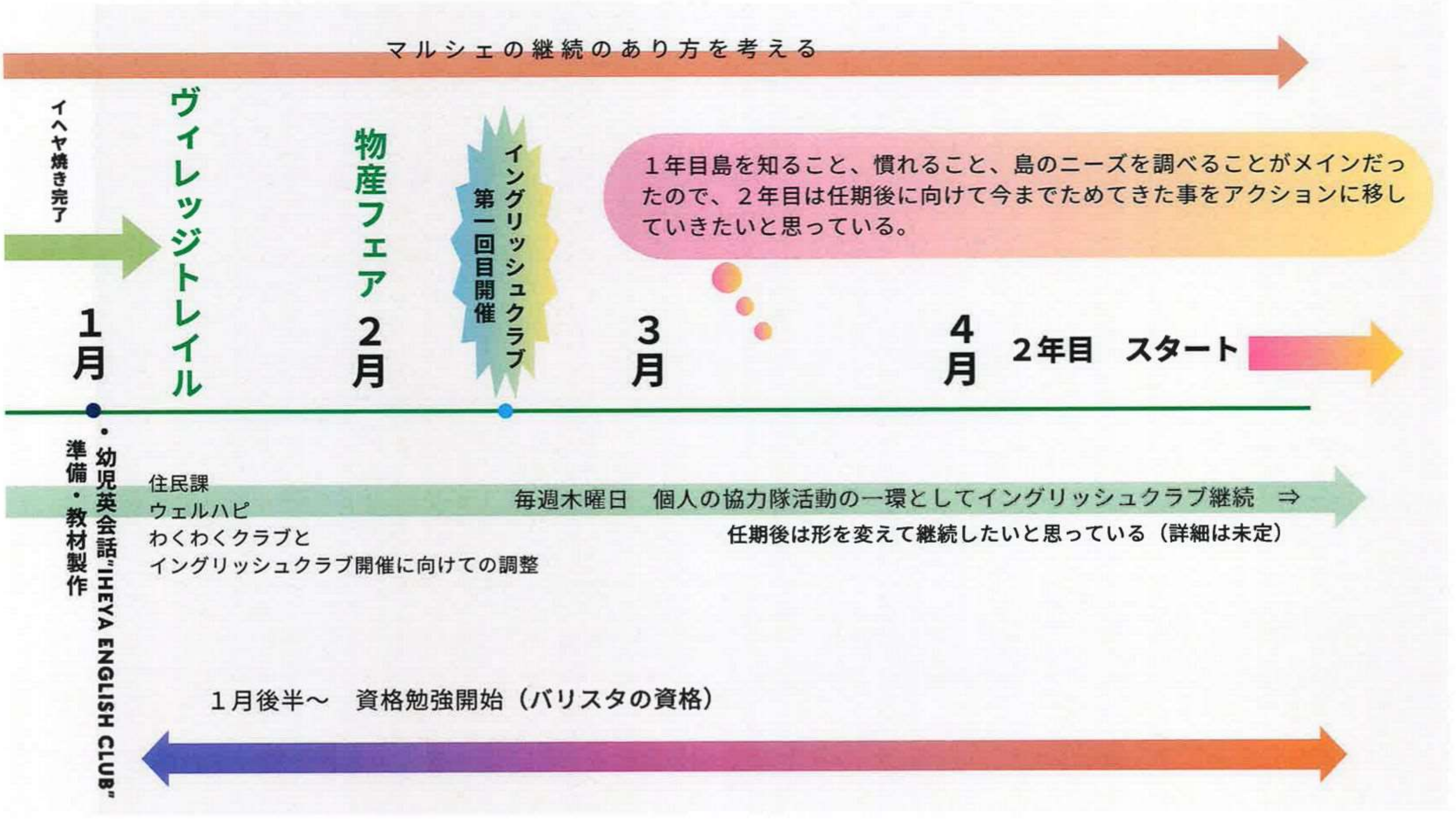
2023年・4月～2024年現時点までの報告

令和６年　３月13日　地域おこし協力隊　活動報告会

伊平屋村地域おこし協力隊

2023年・4月～現時点までのタイムライン


4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
移住+初任者研修
・SNS情報発信開始
・新タマネギ収穫祭
タマネギ収穫祭から村内の地産地消問題について考えるようになる
伊平屋マルシェの企画・提案
・ヒアリング調査
・マルシェ実例調査・資料集め
・勝山軽トラ市への視察
・商工会と共にマルシェの企画を実行
いへや焼きの発信とムーンライトマラソンメダル作り
・DOTE 株式会社様とEnglish Camp スタッフ・アシスタント
・地域活動豊年祭
・幼児英会話"IHEYA ENGLISH CLUB" 企画・提案
イヘヤマルシェ開催
ムーンライトマラソン
・ぽっぽ町田モズクPR
離島フェア
・ヴィレッジトレイル賞品やちむん皿製作
種水土花様と一緒に製作
・DOTE 株式会社様が運営するオンライン英会話のアシスタントとして英語教室に参加する


マルシェの継続のあり方を考える
イヘヤ焼き完了
ヴィレッジトレイル
物産フェア
イングリッシュクラブ
第一回目開催
１年目島を知ること、慣れること、島のニーズを調べることがメインだったので、２年目は任期後に向けて今までためてきた事をアクションに移していきたいと思っている。
1月
2月
3月
4月
2年目　スタート
・幼児英会話"IHEYA ENGLISH CLUB"
準備・教材製作
住民課
ウェルハピ
わくわくクラブと
イングリッシュクラブ開催に向けての調整
毎週木曜日　個人の協力隊活動の一環としてイングリッシュクラブ継続　⇒
任期後は形を変えて継続したいと思っている（詳細は未定）
１月後半～　資格勉強開始（バリスタの資格）

主張・研修

4/1 2・13　協力隊オンライン研修

6/9　地域おこし協力隊初任者研修対面

6/1 0～6/1 2　伊是名島内洞察　空き家利用を目的に

7/2 1～2 3　勝山軽トラ市視察

7/2 8　地域おこし協力隊合同研修対面

8/1 3～　8/1 8　イングリッシュcamp

9/2 0～9/2 1　うるマルシェ/ハッピーモア視察

1 0/2 0～1 0/2 4　ぽっぽ町田・モズクPR

1 1/2 3～1 1/2 7　離島フェア.

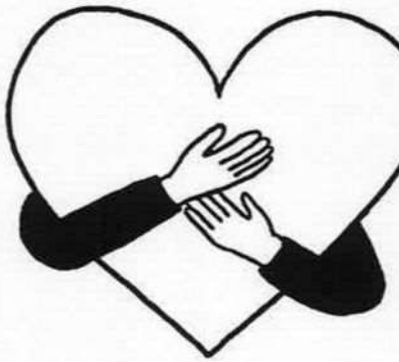
2/1～2/5　タイムス.

研修主張・主張　計　計３２日

活動内容

活動をするに当たり大切にしていること

- 地域の課題ってなんだろう？”常に考える”
- 自分はこうしていきたい　"想いを持つ”
- 一方通行ではないか
- 今、自分にできることからコツコツと
- 楽しんで取り組めるか？



・地産地消・地域で採れた物を地域内で循環

・地産地商・地域で採れた物を外に提供するにはどうしたら良いかを見出す。付加価値をどのようにつけていくか。

11 住み続けられるまちづくりを

+α

SNS情報発信

伊平屋マルシェ

・・・

地産地ショウ問題

伊平屋マルシェに至るまでの経緯

きっかけは・・・**タマネギ収穫祭**

規格外タマネギをいつも大量に捨てるのはもったいない。大切に育てたタマネギを多くの方に食べてもらいたい！そういった農家さんの声をきき、協力隊初めての活動としてタマネギ農家さんと共同でタマネギ収穫祭を企画。

これをきっかけに

・地産地消
・域内循環
に興味を
持つようになる

タマネギ収穫祭で気がついたこと

- 村内の一次産業の高齢化・衰退が進んでいること
- 規格外のタマネギが廃棄されていること。（畑の肥やしになっている）
- 子供達や観光客が普段体験することができない収穫体験をすることで、商品の知名度、地産地消意識の向上、一次産業関心度アップにつながること。
- 島で育てた野菜を島で消費してもらうことは農家さんのやりがいにつながり生きがいを生み出すこと
- 捨てる以外の方法を考えることに価値があること

島の素敵なもの・美味しいものを集めて
マルシェを伊平屋でやってみるのはどうか！

地元の魅力が集まる
「マルシェ」

マルシェって？

「市場」を意味するフランス語です。マルシェというのは、
地域の農家さん、物作りをしている人、お年寄りから子ども
までが集まり、地域の物を直接買うことができる。
また様々な人と人がつながり、その地域の魅力が
集結する場です。

マルシェニーズ調査

島の方に話を聞いてみると・・・色んな野菜を作っている方がいる
規格外などの野菜が余っている方は多い
手作りの加工品も作っている。

けれど。。。

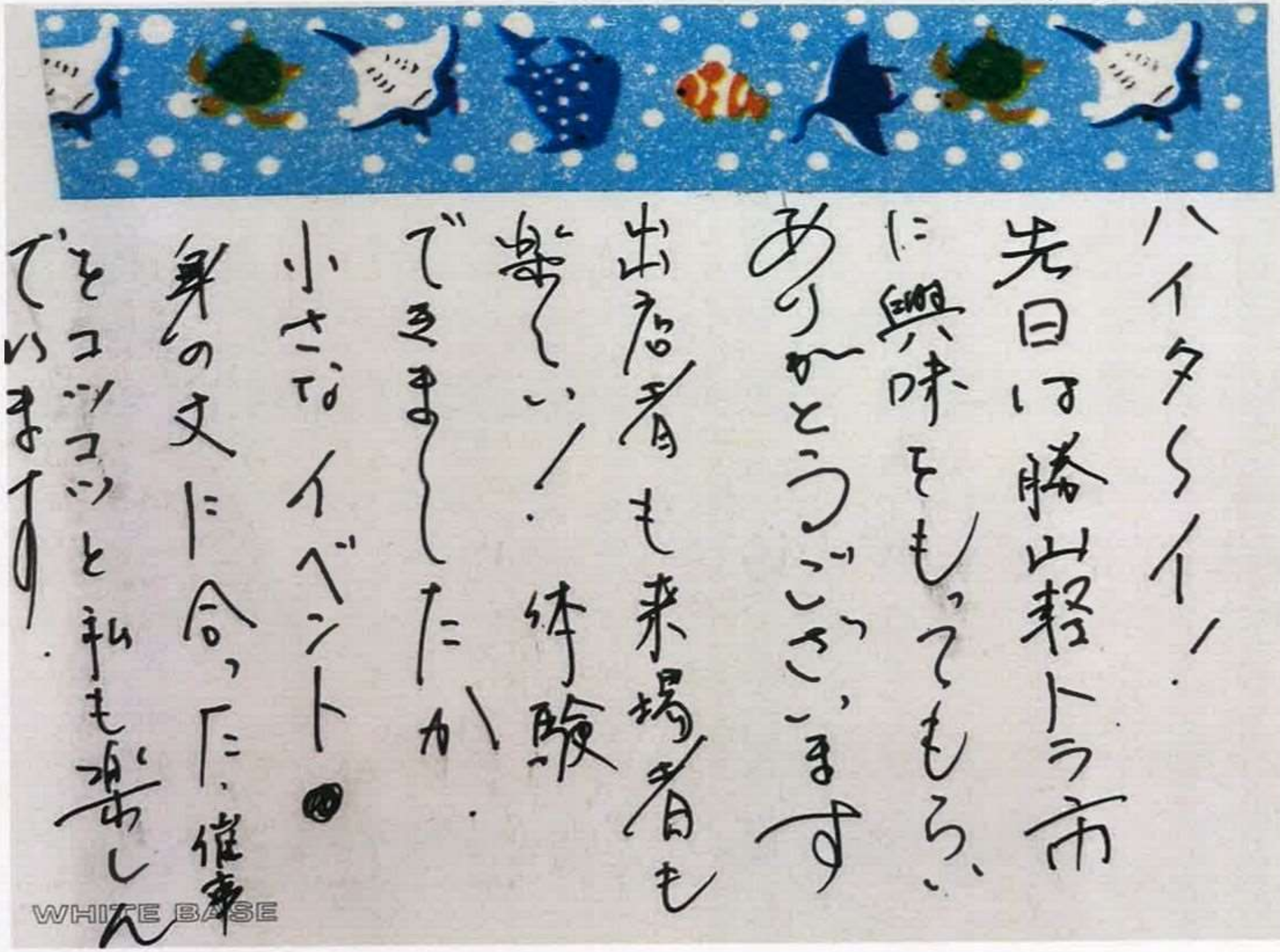
- 売り方がわからない
- 気軽に販売できたら良い
- 出すことに勇気がいる
- 準備など手間がかる事は続かなかった

軽トラ市

メリット

- 準備が楽と言うこと
- 荷台に商品を載せ、販売し
- 帰りはそのまま帰るだけ。

勝山軽トラ市視察



ハイタ〜イ！
先日は勝山軽トラ市
に興味をもってもらい、
ありがとうございます
出店者も来場者も
楽しい！体験
ができましたか．
小さなイベント☺
身の丈に合った催事
をコツコツと私も楽しん
でいます．

安村夫妻から頂いたのお手紙

マルシェが生み出す力4つの点

工夫

どうやったら商品をより多くのお客さんに手に取ってもらえるかを考える。よりよい商品が生まれ出す。珍しい商品を並べる。本来高い物でも規格外を集めて安く提供するなど。

安心・安全 付加価値

生産者がこだわって作った安心・安全な農産品を直接購入できるという点。食への安心・安全意識が高まりに合わせ、生産者の顔を見ながら商品を購入できるというメリットは、マルシェが持つ大きな魅力の1つ。

生きがい・楽しみ

作った物を目の前で買ってもらうことはモチベーションUPや生きがいへ繋がる

コミニケーション

消費者のニーズを知れる＝新たな商品開発のきっかけ

生産者・消費者のお互いの声が知れる。

リピーター獲得に繋がる。

宣伝効果に繋もなる。

- コミュニケーション⇒商品開発のきっかけ
- 生きがい楽しみ⇒生産者のモチベーションUP
- 工夫⇒ブランド力（よりよい商品）
- 安心安全・付加価値⇒リピーター、ファン獲得

イヘヤマルシェ
やってみよう！

開催まで

伊平屋でマルシェを行う目的

- 地産地消問題、域内循環意識の向上
- 観光客でも島の生産者と直接関わる機会を
- 一次産業への関心度を上げる
- 高齢者の生きがい作り
- まずは地域から元気に
- この島にに住み続けたいと思う島作りを
- 地域の強みを見つけ出す（地元の魅力が集まると地域の価値が上がるから）

ターゲットと時間帯設定↓

：ムーンライトマラソンお帰りのお客様。（お土産を購入したいであろう方）村内で一度に多くの来島者が訪れる日であり、一番の特産品をアピールできる時だと思う。

お客様がフェリーを利用する**8:00～13:00の短期集中型**で開催。

：人の流れを確保する

最初にお客様の**導線を確保**し、人がばらけず集まる構図を海上輸送部・観光交通課・商工会を交えミーティングをし最初に決めておいた。

宣伝方法

SNSでの宣伝、村内の売店や
運天港乗り場にポスターを貼った
また、ランナーのゼッケンと一緒に
チラシを入れてもらった。

イヘヤマルシェの様子

今回のいへやマルシェでは

- 伊平屋酒造所
- 倶楽部　野甫の塩
- 種水土花
- 漁協組合
- 釣り吉
- 海屋から千増
- アグリ「和の園」
- Umi café

8組が参加し全体で約100万の売り上げ。

伊平屋マルシェの今後

第２イヘヤマルシェ×フリマ
回開催決定！
3月24日　日曜日10時～
前泊公民間にて

マルシェコーナー
島の野菜や加工品
ポニーとのふれあい

フリーマーケットコーナー
・古着・食器・日用雑貨
・手作り雑貨

その他・飲食販売

イングリッシュクラブ

島の暮らし・文化

ESLキャンプをきっかけに島ママさんから

- 「子供達に英会話教室があればうれしい」
- 「島には習い事の種類が少ない」
- 「自分じゃ教えきれないから、やってほしい」

というお声を耳にするようになった。

11 住み続けられるまちづくりを

イングリッシュクラブ行う目的

- 幼児から英語や異文化に触れる機会を
- 子育て世代が島に住みたいなと思うような町作り
- 保育時間の有効活用
- 習い事の種類少ない→増やしたい

第5次伊平屋村総合計画からインスピレーションを受けた部分

イングリッシュクラブは第5次伊平屋村総合計画にある、
基本目標1 〈人(教育・文化の分野)〉"島の未来は教育が作る"
基本項目2 〈暮らしの分野〉"女性と子供が大切にされ、すべての住民が安心して暮らす島"
を元に創出されている。

〈人(教育・文化の分野)〉からは
①保育・幼児教育の充実
②国際理解教育及び郷土教育の推進
③英語学習の推進
④すべての子供たちが安全安心な学びを享受できる学習環境等の整備
⑤子育て世代・共働き世帯へ支援の充実
⑥教育移住とコミュニティ・スクール構想の推進
⑦すべての子供たちが生涯を通して学び合い・学び続きあ事のできる環境の創出

〈くらし分野〉から
①地域の子育て・子持ち環境の整備

を参考にしています。

What we do ?

クラブ内ではどんなことをするのか？

I'm trying to speak ENGLISH as much as we can possible during the lesson.

Every class, I'm going to organize English Fun activities,

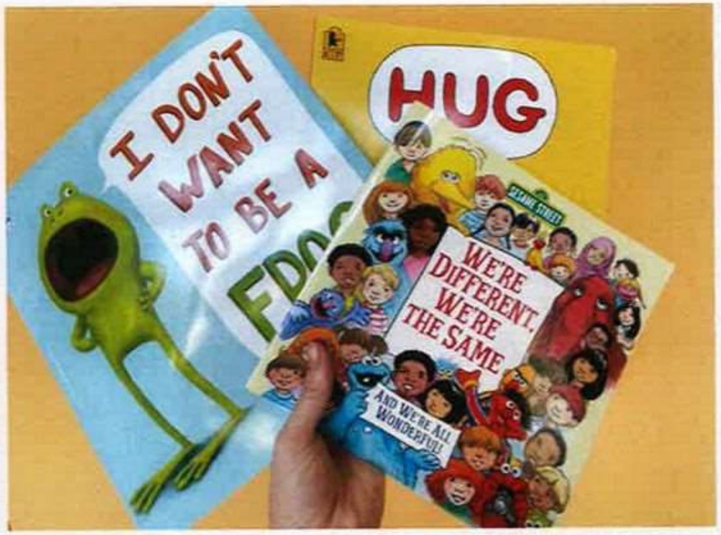
games and readings for kids each lesson.

私たちは可能な限り英語のみで子供たちと会話します。

レッスン中は楽しい英語のアクティビティを用意し、

子供たちと楽しみながら英語を使う練習をしています

レッスンの様子



- わくわくクラブの６０分をお借りし実施
- 今後ウェルハピでも行う予定

いへや焼きの継承

島の暮らし・文化

いへや焼きの継承

目的

- 陶芸は元々趣味で好きだった
- 伊平屋焼きを広めていきたいと思った
  (比嘉さん以外後継者がいない)
- イヘヤ焼きは新たなお土産や体験アクティビティになるのでは?

イヘヤ焼きってなに？

- 島出身の今年90歳になる比嘉 武さんが一人で作っているやちむんのこと。
- 伊平屋の土１００％を使い、粘土から自ら作り上げる。

ムーンライトマラソン用のメダル製作

泥を採取し水でふやかす
田名の土を利用

泥水を攪拌し異物をこす。
それから乾かす。

粘土状に錬った土で
ムーライトのメダルにしていく

釜で１３００度で約１０時間焼く

ヴィレッジトレイル用賞品製作

そ　の　他

名刺のデザイン

今後はイラストデザインや
ポスターデザイン
伊平屋を活かしたオリジナ
ルグッズの制作なども行い
たいと思っている。

村・役場のイベント・地域行事

協力隊合同研修

協力隊合同研修会では沖縄県の協力隊が集結しお互いの目標や、
悩みをシェアできたり協力隊として横の繋がりもできた。

青年会と豊年祭

ぽっぽ町田モズクPR　東京へ

離島フェア

観光・物産フェア

ヴィレッジトレイル

IHEYA VILLAGE TRAIL

IHEYA VILLAGE TRAIL

IHEYA 2024
VILLAGE TRAIL

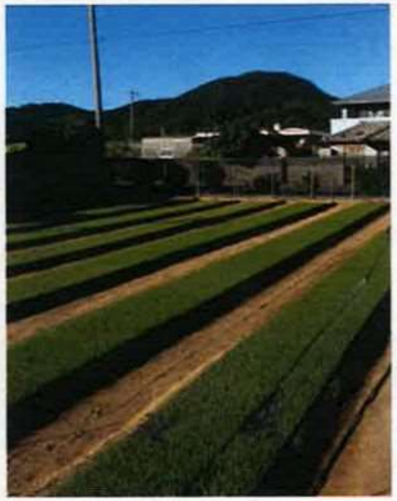
協力隊の休日

MY DAY OFF

iheya life

釣りをして
地元の旬の食を知る

農業体験をして地元の味を知る



高嶺ルビー・赤そばを試験栽培お手伝い

cooking and baking　島の食材を利用して

ご 視 聴 あ り が と う ご ざ い ま し た 。